

# 祖父 尾崎行雄、 祖母 尾崎英子テオドラ、 母 相馬雪香の教え

女性展望カフェ  
「語る」シリーズ2017-⑦

尾崎行雄 1935年



今にも生きる祖父尾崎行雄の言葉に「男は物を作る。女は人を作る」「立法府が最高権力機関である」「政府の責任は国民の生命、財産を守ることである」などがあります。また「常に相手の立場を考えて物事を見、実行していた」ので、その教えは的を得ていたと思います。

祖母尾崎英子テオドラには会うことはありませんでしたが、英国人の母と別れた日本人の父親を求め、16歳で単身来日。そして偶然知り合った尾崎行雄の後妻として多忙な政治家尾崎の健康を気遣い、2人の娘を育てながら、今も読まれている「日本のおとぎ話」を英訳するなど、世界と日本をつなぐ役を果たしました。

母相馬雪香からは「都合が悪くても、真実を受け入れて行動する」ことを身を持って教えられました。1945年4月、父の関東軍519部隊駐屯地、満州の牡丹江から、5歳の私を筆頭に幼い3人の弟妹を無事、連れ帰り、戦争に反対した「国賊尾崎の一族」に「いてもらったら迷惑だ」、「売るものなんか何もない」と罵倒されながら、戦後の一時期を過ごした強い母が思い出されます。そしてアジア・太平洋女性連盟、日本動物福祉協会、日韓女性親善協会、インドシナ難民を助ける会なども立ち上げ、終生活動を続けました。

今日の私があるのは、旧家に生まれながら、両親に自由に育てられたからに他なりません。1984年には、学歴も英語力もある女性たちに通訳という「技」を身につけ、家族と仕事を両立できる場を提供するために(株)ディプロマットを設立。2013年からは、市民として一生勉強をする会、「学堂会」を始めました。

は ら ふ じ こ



ゲスト ■ **原 不二子**さん(株式会社ディプロマット代表取締役社長)

**プロフィール** ▼東京生まれ。上智大学大学院外国語学研究科博士課程修了。フリーの通訳として活躍した後、女性のエンパワーメントを目的に1984年(株)ディプロマットを設立し、代表取締役社長となる。国際会議通訳者協会 AICC(在スイス)会員、欧州連合公認通訳者、(財)尾崎行雄記念財団理事、学堂会代表。 ▼著書:『虎、世界を行く』、『通訳という仕事』、『通訳ブースから見る世界』(ジャパントイムズ社刊)。翻訳書:『尾崎罌堂自伝』(プリンストン大学出版会)、『笹川良一』(イーストウィンド社)、日野原重明著『十代の君たちへー是非読んで欲しい憲法の話』(富山房インターナショナル)。 ▼ダボス会議、国際労働総会等数多くの国際会議の通訳者として活躍。尾崎行雄を祖父に、父は相馬藩主 相馬惠胤、母は難民を助ける会、日韓女性親善協会設立者、日英通訳者の大先輩、相馬雪香。

時 ■ **2017** 年 **4** 月 **17** 日 (月) **13:30~15:30**

所 ■ 婦選会館 (東京都渋谷区代々木 2-21-11)

定員 ■ 30 人 (要予約。下記主催宛、電話・FAX またはメールでお申し込みください)

参加費 ■ 1,620 円 (税込) 本誌読者及び特別維持員は 1,500 円 (税込)

公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木 2-21-11 婦選会館

TEL 03 (3370) 0238 FAX 03 (5388) 4633

E-mail fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL www.ichikawa-fusae.or.jp